

鶴見区西部

地域の高齢者の
医療や介護の相談窓口です

地域包括支援センター



せいぶ 耳 寄り 情報 Vol.82

ちいき みまも てだす ぎゃくたい ぼうし ■地域の見守りと手助けで虐待を防止

地域の気づきがとても大切

介護が長引くと介護者の病気や疲れによる体力の低下、
精神的なストレスにより虐待につながる可能性があります。
まわりの人が早く気づき、声かけや介護者への支援
につながると介護者が1人で抱え込むことが減ります。
「あれっ?」「おかしい」「ちょっと心配」という気づきがとても大切です。
たとえば、このようなことを見かけたことはありませんか?



- ふしぜん 不自然な「あざ」や「やけど」のあとがみられる
- なに おび 何かに怯えている様子がみられる
- いるい やぶ 衣類が破れたり、汚れていて異臭がする
- ふしぜん や たいじゅう へ 不自然に痩せて体重が減っているようだ
- ひつよう いりよう かいごほけんさーびす う 必要な医療や介護保険サービスを受けてなさそう
- いえ ごえ ひめい な こえ き 家からどなり声や悲鳴、泣き声が聞こえる
- こま えんじょ う いや 困っているのに援助を受けることに嫌がる



など

裏面へつづく→

虐待に気づいたらどうしたらいいの？

区役所や、地域包括支援センターにご連絡ください。
地域包括支援センターからご自宅に伺うこともできます。

ご相談者の秘密は必ず守ります。

「あれっ？」と思ったら迷わずご相談ください。



つるみくやくしよ ほけんふくしか こうれいしゃしえん
鶴見区役所(保健福祉課 高齢者支援)

☎06-6915-9859

つるみくせいぶちいきほうかつしえんせんたー
鶴見区西部地域包括支援センター

☎06-6913-7878



穏やかに地域で住み続けられるように

介護者への気配りやねぎらいは大切です。
地域からの見守りや手助けがあると、人は感謝の気持ちで
心が穏やかになっていきます。

地域包括支援センターは、医療や介護の
相談だけでなく、高齢者や介護者の皆さんに
対する地域からの日頃の関わりを大切にし、

孤立しないように地域で支えられる支援をしています。

